

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 生活環境課						
	作成責任者	井上 和成						
	事業名	不法投棄防止パトロール事業						
	会計情報	款	項	目	会計	事業コード	決算付属資料	頁
		衛生費	清掃費	じん芥処理費	一般会計	540108	156・158	
	施策体系	施策コード	040503	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する			
	開始年度	平成22年度						
	終了予定年度	令和2年度						
	関連計画等	福知山市一般廃棄物処理基本計画						
	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律						
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	市街地外周部や山間部での不法投棄が後を絶たず、地域環境への影響が懸念される。不法投棄の防止には、早期発見・早期対策が必要不可欠であるため、巡回パトロールとごみの回収を行うことにより、不法投棄防止対策の充実と市民生活の安心安全を図ることにつながる。						
	対象者	全市民	対象者数	77,743	単位あたりコスト	0.1		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()						
	委託先・実施主体等	(社)福知山市シルバー人材センター、(福)しあわせネットワーク						
	事業概要	不法投棄が多い重点監視地点を中心に巡回パトロールを実施し、不法投棄されたごみを処理する。また、回収した不法投棄物の内容を調査し、不法投棄者の特定につながる物を発見した場合は、警察と連携して注意・指導を行う。						
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容				H30経費	
	業務委託料	不法投棄防止等パトロール業務2件				5,178		
関連事業								

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額					
配当予算	①当初	4,213	6,113	5,179	4,004	4,063				
	②補正予算	176	0	0	0					
	③流充用額			0	0					
	④繰越額計	0	0	0	0	0				
前年度繰越		0	0	0	0	0				
	次年度繰越		0	0	0	0				
財源内訳 (①④⑤内訳)	一般財源	2,283	3,507	2,590	2,002	2,070				
	国支出金	0	0	0	0	0				
	府支出金	2,106	2,606	2,589	2,002	1,993				
	地方債	0	0	0	0	0				
	その他特財	0	0	0	0	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	不法投棄防止パトロール事業(みらい戦略一括交付金)		種類	府補助金	実績金額	2,743	決算付属資料	24	頁
	特財名称			種類		実績金額		決算付属資料		頁
人員費	従事職員数 (正職・嘱託)	0.11/0.03	0.12 / 0.05	0.17 / 0.04	0.17 / 0.04					
	⑤概算人員費	955	1,085	1,460	1,460					
	⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	5,344	7,198	6,639	5,464					
	⑦執行額	4,389	5,178	5,178	0					
	執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	100.0%	84.7%	100.0%	0.0%					

成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
	回収量	t	11 / 0	8 / 0	7 / 0	/ 0	0
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
	パトロール回数	回	236 / 236	234 / 234	236 / 236	/ 218	218
	単位あたりコスト		18.6	22.1	21.9		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイ捨てを含めた不法投棄の防止は生活環境の保全のためには必要性が高い。 ・自治会等による地域美化活動では、回収しきれない。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	<ul style="list-style-type: none"> ・経験をもった民間業者に委託することにより、効率的な運営を図っている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標、活動目標は最終的に不法投棄が無くなることを目標としている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		パトロール活動は目標どおり実施し、不法投棄ごみを回収することで不法投棄行為を抑制し、生活環境の保全に努めたことは評価できる。	
今後の課題及び方向性		不法投棄が無くなることを目標としているが、現状は、回収と再発の繰り返しであり、効果的な対策を検討しつつ、生活環境の保全のためには、パトロール活動により、回収を継続する必要がある。 令和元年度からパトロール日数を縮小することで業務の効率化を図り、これによる成果の検証を行う。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針 担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> ・業務委託契約の基となる設計積算内容について、より実態に見合った設計内容となるよう継続して検討する。
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 生活環境課						
	作成責任者	井上 和成						
	事業名	施設管理・周辺対策一般事業						
	会計情報	款	項	目	会計	事業コード	決算付属資料	頁
		衛生費	清掃費	じん芥処理費	一般会計	540109	158	頁
	施策体系	施策コード	040503	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する			
	開始年度	昭和50年度						
	終了予定年度	平成30年度						
	関連計画等							
	根拠法令等							
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()							

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	環境パーク周辺地域の環境対策及び環境パーク施設管理等を適切に行うことで、環境パーク利用者へのサービスの充実と周辺地域住民の生活環境の保全を行う。						
	対象者	全市民	対象者数	77,743	単位あたりコスト	0.1		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()						
	委託先・実施主体等	㈱環境総合テクノス京都支店、㈱アクアテック						
	事業概要	環境パーク周辺地域の空気環境測定業務及び、環境パーク場内の雨水排水管浚渫を業者委託により行う。また、施設の維持に要する消耗品、車両の維持管理、適切なごみ処理に必要な資材など必要な経費を賄う。						
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容				H30経費	
		旅費	京都府庁協議				10	
需用費		不法投棄防止用看板、燃料費、車検修繕				824		
役務費		車検手数料、自賠責保険料				74		
委託料		環境パーク周辺環境調査業務、場内雨水排水管浚渫業務				5,908		
公課費	自動車重量税				7			
関連事業								

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額				
	配当予算	①当初	6,950	9,826	8,589	0	0			
		②補正予算			0	0				
		③流充用額	626	0	△ 22	0				
		④繰越額計	0	0	0	0	0			
	繰越	前年度繰越		0	0	0	0			
		次年度繰越		0	0	0	0			
		繰越合計		0	0	0	0			
	財源内訳 (①④⑤内訳)	一般財源	7,576	7,617	6,002	0	0			
		国支出金	0	0	0	0	0			
		府支出金	0	2,144	2,500	0	0			
		地方債	0	0	0	0	0			
		その他特財	0	65	65	0	0			
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	ごみ焼却施設周辺地域大気環境調査事業(みらい戦略一括交付金)	種類	府補助金	実績金額	2,043	決算付属資料	24	頁
		特財名称	電柱占用料	種類	使用料	実績金額	71	決算付属資料	8	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.2/0	0.18 / 0	0.18 / 0	/					
	⑤概算人件費	1,600	1,440	1,440						
	⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	9,176	11,266	10,007	0					
	⑦執行額	7,576	8,439	6,822	0					
	執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	100.0%	85.9%	79.6%						

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		環境基準達成率	%	100/100	100/100	100/100	/	100
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		測定箇所数	箇所	10/10	10/10	10/10	/	10
		単位あたりコスト		757.6	843.9	682.2		
		単位あたりコスト		/	/	/	/	

項 目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・環境パーク施設管理、周辺対策のために必要な事業であり、市民サービスの充実につながっている。地元との公害防止協定の遵守のためにも必要な事業である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・コスト削減に努めることが必要であるが、最低限の経費で済むよう心がけている。 ・測定業務等は、直接実施よりも業者委託が最も効率がよく、コスト削減が図れる。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果指標は、環境パーク周辺住民の安心安全が図れるものとしている。 ・測定機器の設置場所の提供など、地元協力を得ながら実施している。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	測定結果は、環境基準を達成しており、ごみ焼却施設を原因とする大気汚染の影響を危惧されている周辺地域住民に不安を与えない結果が得られている。 環境パーク場内の施設管理についても、適切な維持管理が図れている。		
今後の課題及び方向性	環境パーク周辺自治会と環境保全に関する信頼関係の維持・継続に必要な事業であり、また、環境パーク施設管理についても同様に必要であるため、今後も継続的に実施をする。 令和元年度より環境パーク運転・維持管理事業に統合する。		

所 見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内 容
	担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 生活環境課												
	作成責任者	井上 和成												
	事業名	資源ごみ集団回収報奨事業												
	会計情報	款	衛生費	項	清掃費	目	じん芥処理費	会計	一般会計	事業コード	540113	決算付属資料	158	頁
	施策体系	施策コード	040503	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する									
	開始年度	平成3年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	福知山市一般廃棄物処理基本計画												
	根拠法令等	福知山市資源ごみ集団回収団体報奨金支給要綱												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	各種市民団体の自主的な資源ごみの集団回収により、環境パークへ持ち込まれるごみ量が減少し、処理費用の削減が図られている。PTA、子ども会、老人会などの団体による回収活動を通じて、子どもから高齢者まで、すべての人がごみの減量・分別・リサイクルの必要性を実感し、環境問題の大切さを認識している循環型社会のまちづくりを実現する。									
	対象者	全市民	対象者数	77,743	単位あたりコスト	0.1					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
	委託先・実施主体等	登録団体 103団体									
	事業概要	営利を目的としない団体(PTA、子ども会、自治会など)による資源ごみ(新聞、雑誌、ダンボール、空き缶、廃食用油など)の集団回収に対し、資源ごみ1kgあたり3円(廃食用油の場合は1リットルあたり3円)の報奨金を支給することで市民の自主的な活動を後押しし、ごみの減量、リサイクルを進める。									
主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容						H30経費			
	報償費	資源ごみ集団回収団体報奨金						5,538			
関連事業											

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額						
	配当予算	①当初	11,056	9,878	6,258	5,475	4,928					
		②補正予算	0	0	0	0	0					
		③流充用額	0	0	0	0	0					
		④繰越額計	0	0	0	0	0					
	前年度繰越							0	0	0	0	0
								0	0	0	0	0
	財源内訳 (①④⑤内訳)	一般財源	5,528	4,939	6,258	2,738	2,464					
		国支出金	0	0	0	0	0					
		府支出金	5,528	4,939	0	2,737	2,464					
		地方債	0	0	0	0	0					
	その他特財	0	0	0	0	0						
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	資源ごみ集団回収報奨事業(みらい戦略一括交付金)			種類	府補助金	実績金額	2,935	決算付属資料	24	頁
		特財名称				種類		実績金額		決算付属資料		頁
	人件費	0.18/0	0.17 / 0	0.12 / 0	0.12 / 0							
⑤概算人件費	1,440	1,360	960	960								
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	12,496	11,238	7,218	6,435								
⑦執行額	8,341	7,608	5,538	0								
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	75.4%	77.0%	88.5%	0.0%								

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		リサイクル率	%	18.3 / 19.5	17.5 / 20.0	17.3 / 22.6	/ 25.3	25
	年間1人当たりごみ排出量	kg	152 / 155	147 / 151	154 / 146	/ 141	138	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		資源ごみ回収量	t	2,085/2,747	1,902 / 2,774	1,846/ 2,809	/ 2,843	2,882
		単位あたりコスト		4.0	4.0	3.0		
			/	/	/	/		
	単位あたりコスト							

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	<ul style="list-style-type: none"> 子ども会、PTAなど多くの団体が登録しており、この制度は市民に定着している。 この事業による回収量は、市全体の再資源化量に大きな割合を占めている。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	<ul style="list-style-type: none"> 前年度実績で試算すると、市が同量の資源ごみを収集・処理をする場合よりも、報奨金制度のほうが経費節減ができる計算結果であった。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	<ul style="list-style-type: none"> ごみ処理量の減少やリサイクル率上昇が重要であり、明確に把握できる指標である。 他の多くの市町村でも実施されており、その取組みを参考にしている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		<ul style="list-style-type: none"> 市民による積極的な集団回収により、環境パークへのごみの持込み量を減らすことに貢献しており、処理費用の削減やリサイクル率の向上につながっているが、目標値達成のためには回収量の増加が必要であるが、年々減少傾向にあるため、活動意欲を高めるための啓発等の方策を検討しなければならない。 	
今後の課題及び方向性		<ul style="list-style-type: none"> 資源ごみ回収を実施する団体が減少傾向にあるため、実施団体の増加や環境意識の向上を目指しながら、報奨金単価について、回収量、引き取り価格、及び他市町村の状況から総合的に判断し、最適なバランスについて検討する。 平成30年度は、報奨金単価を1kg当たり4円から3円に変更し、それに伴う実施状況の変化や買い取り市場価格についてデータを収集している。今後、これらデータを基に今後の方向性を検討する。 	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> 買取市場価格等を勘案した結果、令和2年度は報奨金単価の見直しは行わない。 【H29年度棚卸しに係る見直し】 平成31年度以降、実施団体の増加や環境意識の向上を目指しながら買取市場価格と報奨金単価との最適なバランスについて継続して検討する。
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 生活環境課												
	作成責任者	井上 和成												
	事業名	清掃管理一般事業												
	会計情報	款	衛生費	項	清掃費	目	清掃総務費	会計	一般会計	事業コード	540119	決算付属資料	156	頁
	施策体系	施策コード	040503	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する									
	開始年度	昭和50年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等													
	根拠法令等													
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	廃棄物処理等の市民サービスを充実させるために、環境パークの運営に関する一般行政事務を円滑に進めることを目的としている。一般事務に要する予算を一括することで、円滑な予算管理が進み事務の効率化を進める。									
	対象者	全市民	対象者数	77,743	単位あたりコスト	0.6					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
	委託先・実施主体等										
	事業概要	環境施策に関する調査回答、連絡調整など、全般的な事務を行う。(室の庶務、予算の管理、執行) その他、京都府廃棄物処理対策協議会・全国都市清掃会議の年会費の負担、旅費など全般に渡る事務的経費を一括して賄う。									
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容					H30経費			
		旅費	廃棄物処理対策協議会総会 他					148			
需用費		用度物品、プリンター、参考書籍 他					796				
役務費・使用料及び賃借料		電話料、郵送料・複写機使用料					1,585				
備品購入費		リース車購入、ラミネーター、生活環境課専用市長印					687				
関連事業	負担金補助及び交付金・公課費 全国都市清掃会議年会費 他 114										

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
	配当予算	①当初	4,394	3,645	3,653	3,301	3,222
		②補正予算			0	0	
		③流充用額	0	0	0	0	
		④繰越額計	0	0	0	0	0
	前年度繰越	前年度繰越		0	0	0	0
		次年度繰越		0	0	0	0
		繰越					
	財源内訳 (①④⑥内訳)	一般財源	4,394	3,645	3,653	3,301	3,222
		国支出金	0	0	0	0	0
		府支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他特財	0	0	0	0	0
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	4.66/0.39	4.77 / 0.56	4.8 / 0.39	4.8 / 0.39			
⑤概算人件費	38,255	39,560	39,375	39,375			
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	42,649	43,205	43,028	42,676			
⑦執行額	3,692	3,571	3,330				
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	84.0%	98.0%	91.2%	0.0%			

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
				/	/	/	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		文書処理件数	件	870 / 700	885 / 700	826/700	/ 700	700以下
		単位あたりコスト		4.2	4.0	4.0		
				/	/	/	/	
	単位あたりコスト							

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・環境行政事務の円滑な実施のために必要な事業であり、市民サービスの充実につながっている。事務を進める上で必要な事業である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・コスト削減に努めることが必要であり、最低限の経費で済むよう事務の効率化などに心がけている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・活動実績は文書処理件数としている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		円滑な事務執行や、市民サービスの充実という目標の達成状況を評価する適切な指標の設定が難しい。【定性的評価】	
今後の課題及び方向性		無駄をなくすため、必要な事務処理と必要な経費の見極めを行い、経費節減に努める。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	○現行通りの実施妥当。全国負担金も、一定の意味があることは理解する ○更なる経費削減につとめて欲しい
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	所見

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 生活環境課						
	作成責任者	井上 和成						
	事業名	第1期・第2期埋立処分場整備事業						
	会計情報	款	項	目	会計	事業コード	決算付属資料	頁
		衛生費	清掃費	じん芥処理費	一般会計	540123	158	
	施策体系	施策コード	040503	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する			
	開始年度	平成27年度						
	終了予定年度	令和13年度						
	関連計画等	福知山市一般廃棄物処理基本計画、福知山市循環型社会形成推進地域計画【第2期】						
	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律						
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()							

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	逼迫状態の不燃物埋立処分場において、第1期・第2期エリアの埋立量の拡大を図り、環境パーク全体の延命化を図る。					
	対象者	全市民	対象者数	77,743	単位あたりコスト	1.6	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等	株式会社富士興業、株式会社キタイ設計					
	事業概要	第1期・第2期埋立処分場嵩上げ整備工事を進めている。 埋立面積 4,500㎡、埋立量 21万㎡拡大					
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費	
		旅費	京都府への国庫補助申請に係る旅費			29	
委託料		不燃物埋立処分場飛灰置場改修実施設計業務			3,326		
工事請負費		第1期・第2期埋立処分場整備工事			113,215		
関連事業							

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額					
	配当予算	①当初	20,000	78,300	119,023	0	11,000				
		②補正予算			0	0					
		③流充用額	△ 7,000	△ 15,000	△ 645	0					
		④繰越額計	0	0	0	0	0				
	繰越	前年度繰越		0	0	0	0				
		次年度繰越		0	0	0	0				
		繰越合計		0	0	0	0				
	財源内訳 (①④⑤内訳)	一般財源	8,667	0	0	0	2,800				
		国支出金	4,333	0	36,007	0	0				
		府支出金	0	0	0	0	0				
		地方債	0	60,100	73,000	0	8,200				
		その他特財	0	3,200	9,371	0	0				
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	循環型社会形成推進交付金・第1期・第2期埋立処分場整備事業		種類	国庫補助金	実績金額	42,201	決算付属資料	18	頁
		特財名称	第1期・第2期処分場埋立整備事業(一般廃棄物処理)		種類	市債	実績金額	65,100	決算付属資料	48	頁
人件費	従事職員数 (正職・嘱託)	0.50/0	0.46 / 0	0.32 / 0	/						
	⑤概算人件費	4,000	3,680	2,560							
	⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	17,000	66,980	120,938							
	⑦執行額	10,686	60,562	116,571							
	執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	82.2%	95.7%	98.5%							

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		埋立増量	㎡	0 / 0	0 / 0	7万/7万	/ 0	21万
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		単年当たり事業進捗率	%	1 / 1	5 / 5	8/7	/ 0	埋立完了
		単位あたりコスト		10686.0	12112.4	14571.4		
		単位あたりコスト		/	/	/	/	

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・一般廃棄物の処理は市の責務であり、最終処分場の確保の必要性は高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・新たな処分地の確保に比べ、現処分場の嵩上げを行うことでコスト削減を図る。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標、活動目標については、各年度の予定工事を実施し、段階的に埋立量の拡大を図っていくことを目標としている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	予定工事が適正かつ安全に完成できたことは評価できる。	
	今後の課題及び方向性	現在埋立している第3期処分場の残余容量に余裕がある間に、第1期・第2期の埋立が再開できるよう、事業進捗を促進する必要がある。また、更なる延命化に向け、産業廃棄物の搬入規制や第4期埋立処分場整備計画を進めていく必要がある。		

		所見
庁内及び外部による評価 (棚卸し評価)	二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
	三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

		方針区分	内容
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	埋立の進捗に伴い最下流の越水対策を図る。令和4年度から第2段階の整備に入る。埋立完了は令和13年の予定。 【H30棚卸しによる見直し状況】 限られた埋立容量を少しでも有効活用するため適切な埋立を実施した。
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 生活環境課												
	作成責任者	井上 和成												
	事業名	リサイクル啓発事業												
	会計情報	款	衛生費	項	清掃費	目	じん芥処理費	会計	一般会計	事業コード	540131	決算付属資料	158	頁
	施策体系	施策コード	040503	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する									
	開始年度	平成15年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	福知山市一般廃棄物処理基本計画												
	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	家具等の修理再生品の販売及びリサイクル体験教室を通じて、3R(スリーアール)のリデュース(ごみを減らす)・リユース(くり返し使う)・リサイクル(資源の再利用)に対する市民の意識向上を図り、多くの市民が3Rに取り組むことで、循環型社会形成の意識が向上した社会を実現する。				
	対象者	全市民	対象者数	77,743	単位あたりコスト	0.1
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
	委託先・実施主体等	(社)福知山シルバー人材センター、エコ美遊				
	事業概要	1 環境パークに持ち込まれた再生利用可能な廃棄物を、修理再生し、リサイクルプラザで展示販売する。 ①展示販売品 ②修理再生家具等の販売 ③衣類などの無償譲渡 2 環境パークに持ち込まれた再生利用可能な廃棄物を活用し、リサイクルプラザ2階の体験コーナーで、3Rの重要性について学習後、実際にガラス細工や布リフォームなどを体験してもらい、家庭や地域などで学んだ技術を活用してもらう。				
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費		
	需用費	家具等修理材料費一式、ガス代	30			
	役務費	修理再生品PL法保険料	5			
	業務委託料	リサイクル教室・リユースショップ運営業務、家具等修理再生業務	2,638			
	備品購入費	マシン購入	49			
関連事業						

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額				
	配当予算	①当初	3,282	2,959	2,863	2,560	2,608			
		②補正予算	0	0	0	0				
		③流充用額	0	0	0	0				
		④繰越額計	0	0	0	0	0			
	前年度繰越			0	0	0	0			
		次年度繰越		0	0	0	0			
	財源内訳 (①④⑤内訳)	一般財源	1,397	1,236	1,178	844	943			
		国支出金	0	0	0	0	0			
		府支出金	1,396	1,236	1,198	1,280	1,262			
		地方債	0	0	0	0	0			
		その他特財	489	487	487	436	403			
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	リサイクル啓発事業(みらい戦略一括交付金)	種類	府補助金	実績金額	1,318	決算付属資料	24	頁
		特財名称	リユースショップ	種類	財産売払収入	実績金額	78	決算付属資料	32	頁
	人件費	0.17/0.10	0.2 / 0.5	0.18 / 0.3	0.18 / 0.3					
⑤概算人件費	1,610	2,850	2,190	2,190						
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	4,892	5,809	5,053	4,750						
⑦執行額	3,229	2,948	2,721	0						
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	98.4%	99.6%	95.0%	0.0%						

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		リサイクル率	%	18.3/19.5	17.5 / 20.0	17.3 / 22.6	/ 25.3	25.0
		一人当たりごみ排出量	kg	152/155	147 / 151	154 / 146	/ 141	138
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		家具等の販売数	点	258/320	521/320	281/320	/ 320	320
		単位あたりコスト		12.5	5.7	9.7		
体験教室参加者数	人	633/660	595/660	582 / 660	/ 660	660		
単位あたりコスト		5.1	5.0	4.7				

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・体験教室や家具販売には毎回多くの申込みがあり、ニーズはある。リサイクル啓発が目的であり、営利目的の事業者が実施するには適さない事業である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・環境パークはリサイクル可能なものが豊富に集まり、効率よくリサイクル品の提供やリサイクル教室が行える。委託先は、営利を目的としない団体である。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・ごみ処理量の減少やリサイクル率上昇が重要であり、明確に把握できる指標である。 ・他市との比較では、近隣では最も活発にリサイクル体験教室を実施している。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		・修理再生家具等の販売及びリサイクル体験教室は、毎年多くの申込みや参加者があり、リサイクル啓発に一定の役割は果たしていると考えますが、本事業が、成果指標であるごみの排出量やリサイクル率に対して、どれだけ効果があったのか、判断するのが難しい。	
今後の課題及び方向性		・市民のリサイクル意識の向上を促すことが目的であるということを意識しながら、事業を進める必要がある。 ・リサイクル品の販売数や体験教室参加者数が目的ではなく、啓発効果の大きさが重要であり、本事業に参加した市民がごみ減量化及びリサイクル意識を更に高める事業内容となるよう、令和元年度より体験教室の冒頭に、教室の目的や3Rの重要性について、映像教材により学習してもらった講習を行う。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	・再生家具販売枠を増やしたり、広報誌やHP等を積極的に活用し、市民に対する3Rの啓発活動をさらに進める。 【平成30年度棚卸しに係る見直し】 ・平成31年度から体験教室の際に教材を用いて3R等の啓発を行うこととした。
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 生活環境課												
	作成責任者	井上 和成												
	事業名	ごみ焼却施設修繕事業												
	会計情報	款	衛生費	項	清掃費	目	じん芥処理費	会計	一般会計	事業コード	540138	決算付属資料	158	頁
	施策体系	施策コード	040503		施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する								
	開始年度	平成28年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	福知山市一般廃棄物処理基本計画												
	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、容器リサイクル法、ダイオキシン特別措置法												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	平成12年度から稼働している焼却施設の各機械施設及び電気設備を計画的に整備することで、法令及び公害防止協定の遵守するとともに、施設の延命化を図り廃棄物の適正処理を行う。									
	対象者	全市民			対象者数	77,743		単位あたりコスト	0.7		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
	委託先・実施主体等										
	事業概要	ごみ焼却施設は稼働後、18年が経過している。福知山市内からの燃やすごみを、法令及び公害防止協定を遵守するため適正かつ安全に焼却処理を行うことで、市民の快適な衛生生活を提供することとなる。市民サービスの充実を図るため、ごみ焼却施設の設備の維持修繕を行う。									
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容						H30経費		
	需用費	ごみ焼却施設ごみ焼却炉2号炉燃焼ストーカほか修繕 他						53,046			
関連事業	廃棄物処理施設等運転管理委託事業、環境パーク運転・維持管理事業										

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額					
	配当予算	①当初	70,000	50,700	58,185	75,500	108,062				
		②補正予算			0	0					
		③流充用額	△ 36,748	4,893	△ 5,139	0					
		④繰越額計	△ 22,419	22,419	0	0	0				
	前年度繰越			0	0	0	0				
		次年度繰越		0	0	0	0				
	財源内訳 (①④⑤内訳)	一般財源	0	10,612	10,746	4,700	27,862				
		国支出金	0	0	0	0	0				
		府支出金	0	0	0	0	0				
		地方債	6,300	53,500	42,300	70,800	80,200				
		その他特財	4,533	13,900	0	0	0				
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	ごみ焼却施設修繕事業(一般廃棄物処理)		種類	市債	実績金額	39,700	決算付属資料	46	頁
		特財名称	下水道(灰・しき)処理手数料		種類	手数料	実績金額	4,000	決算付属資料	14	頁
	人件費	従事職員数 (正職・嘱託)	0.32/0	0.44 / 0	0.48 / 0	0.48 / 0					
⑤概算人件費		2,560	3,520	3,840	3,840						
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)		13,393	81,532	56,886	79,340						
⑦執行額		9,661	76,912	53,046							
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)		89.2%	98.6%	100.0%	0.0%						

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
		公害防止協定、協定値の遵守		協定値以下	協定値以下	協定値以下		協定値以下	
				/	/	/	/		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
		ごみ焼却量	t	18,935 / 15,567	18,931 / 15,298	18,554 / 14,281	/	13,171	12,644
		単位あたりコスト		0.5	4.1	2.9			
			/	/	/	/			

項 目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・市民の生活に不可欠なごみ処理に係る事業であり、焼却処理において、法令の遵守と地元自治会との公害防止協定の遵守することにより市民生活の安全安心を確保する。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・法令の遵守及び安全な処理を確保しつつ、施設の適正な維持管理を行い、計画的な修繕を行うことで施設の延命化をすることにより可能なコスト縮減、効率化を図る。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標については、遵守すべき法令及び公害防止協定をクリアする。 ・活動実績はごみ焼却量。 ・有効な技術等を常に研究している。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		施設の計画的な修繕を行うことにより、市内で発生する燃やすごみの安定かつ適正な「ごみ焼却」が行なえた。ごみの焼却処理に発生する有害物質の発生を抑制、除去を行ない法令及び公害防止協定に定められている基準値を下回る測定結果を得た。	
今後の課題及び方向性		ごみ焼却を安定かつ適正に処理を行なうとともに、さらに効率化と経費の削減を図る。	

所 見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内 容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	調達コストの適正を図るため、調達価格の評価方法について、他の自治体の調査を含め検討する。 【H30棚卸しによる見直し状況】 プラント施設として独自仕様で建てられた施設であるため、他の自治体との調査は行わなかったが、汎用性がきく設備の修繕等については、随意契約を行わず、指名競争入札を行いコスト削減に努めた。
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 生活環境課						
	作成責任者	井上 和成						
	事業名	水処理施設運転・維持管理事業						
	会計情報	款	項	目	会計	事業コード	決算付属資料	頁
		衛生費	清掃費	じん芥処理費	一般会計	540142	158	頁
	施策体系	施策コード	040503	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する			
	開始年度	平成28年度						
	終了予定年度	令和2年度						
	関連計画等	福知山市一般廃棄物処理基本計画						
	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律						
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	福知山市環境パーク及び三和町・夜久野町・大江町の最終処分場から流れ込む浸出水を適正に処理するための水処理施設をそれぞれ設置している。その施設で処理された浸出水は、放流水として河川放流をするが、その放流水質は、法令の排出基準及び環境保全協定に定められた基準を遵守しなければならない。そのため、水処理施設の機械・電気設備を計画的な整備修繕を行うとともに、水処理施設の適正かつ安定した稼働と適切な施設管理を図ることを目的とする。						
	対象者	全市民	対象者数	77,743	単位あたりコスト	0.6		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()						
	委託先・実施主体等	(社)福知山市シルバー人材センター、(株)アクアテック 他						
	事業概要	不燃物埋立処分場から排出される汚水(浸出水)を、公共水域基準及び公害防止協定値以下まで処理するため浸出水処理施設の安定かつ確実な稼働の維持管理を行う。						
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容				H30経費	
	需用費	消耗品費、光熱水費、修繕料				22,928		
	役務費	通信運搬費、浄化槽法定点検手数料				274		
	委託料	浸出水処理施設 汚泥管理業務等				21,763		
	関連事業							

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額				
	①当初	33,076	39,120	39,267	39,086	35,646				
	②補正予算			0	0					
	③流充用額	294	1,122	5,723	0					
	④繰越額計	0	0	0	0	0				
	前年度繰越		0	0	0	0				
	次年度繰越		0	0	0	0				
	財源内訳(①③④内訳)									
	一般財源	33,370	23,643	27,422	16,780	9,334				
	国支出金	0	0	0	0	0				
	府支出金	0	0	0	0	0				
	地方債	0	0	0	0	0				
	その他特財	0	16,599	17,568	22,306	26,312				
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	下水道(灰・しき)処理手数料	種類	手数料	実績金額	7,351	決算付属資料	14	頁
		特財名称	市内庁ごみ手数料	種類	手数料	実績金額	11,817	決算付属資料	14	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.49/0	0.65 / 0	0.35 / 0	0.35 / 0					
⑤概算人件費		3,920	5,200	2,800	2,800					
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)		37,290	45,442	47,790	41,886					
⑦執行額		27,716	38,450	44,965						
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)		83.1%	95.5%	99.9%	0.0%					

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		公害防止協定、協定値の遵守		協定値以下	協定値以下	協定値以下		協定値以下
		指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	放流量	t	76,767/ 136,145	79,633/ 136,145	77,127/ 136,145	/ 136,145	完全処理
		単位あたりコスト		0.4	0.5	0.6		
	単位あたりコスト		/	/	/	/		

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・市民の生活に不可欠なごみ処理に係る事業であり、焼却処理において、法令の遵守と地元自治会との公害防止協定の遵守することにより市民生活の安全安心を確保する。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・法令の遵守及び安全な処理を確保しつつ、施設の適正な維持管理を行い、計画的な修繕を行うことで施設の延命化をすることにより可能なコスト縮減、効率化を図る。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標については、遵守すべき法令及び公害防止協定をクリアする。 ・活動実績はごみ処理量。 ・有効な技術等を常に研究している。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	排水基準及び公害防止協定を遵守するため水処理施設の適正管理は必要である。施設の適正管理を行うことにより公害防止協定の排水基準を守るうえで有効である。水処理施設放流水の排出基準及び公害防止協定基準を順守できた。		
今後の課題及び方向性	今後も排水基準及び公害防止協定を遵守するため水処理施設の適正管理を行なう必要がある。		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針 担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	埋立処分場の増設に伴い既存の処理施設の更新、延命化を含め長期間行わなくてはならない水処理施設の管理コスト削減の検証を検討する。 【H30棚卸しによる見直し状況】 三和町(梅原)一般廃棄物最終処分場の再開及び廃止を含め、旧3町最終処分場の廃止に向けて、経常経費の削減に繋げるための検討を行った。
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 生活環境課												
	作成責任者	井上 和成												
	事業名	災害廃棄物処理事業												
	会計情報	款	民生費	項	災害救助費	目	災害救助費	会計	一般会計	事業コード	540145	決算付属資料	142	頁
	施策体系	施策コード	040503	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する									
	開始年度	平成29年度												
	終了予定年度	令和元年度												
	関連計画等	福知山市一般廃棄物処理基本計画												
	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	平成30年7月豪雨及び台風24号の被害により発生した災害廃棄物を速やかに撤去・処分し、市民の生活環境保全を行う。										
	対象者	全市民	対象者数	77,743	単位あたりコスト	0.5						
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等	業務委託：福知山環境事業協同組合ほか6者、工事請負：(株)今井工務店、岸下建設(株)										
	事業概要	各被災箇所において指定された臨時集積所に集まった災害廃棄物を環境パークまで収集運搬し、分別・処分を行う。また、全壊(7月豪雨については半壊を含む。)の被害を受けた住家屋等について、所有者からの申請に基づき、市が撤去・処分工事をを行い、既に自費で撤去・処分したものに對しては、その費用を償還する。										
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費		
		需用費	薬品費、電気料、臨時集積所復旧修繕費							1,849		
役務費		家電リサイクル料金							2,056			
業務委託料		収集運搬・分別等業務、施設運転・管理業務ほか3件							11,125			
工事請負費		石本地区工事、下佐々木地区工事							9,700			
負担金補助及び交付金		私市地内ほか3件(被災家屋自費撤去等償還金)							9,990			
関連事業												

予算と執行の 状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額						
	配当予算	①当初	0	0	0	0	0					
		②補正予算	0	7,073	60,900	0	0					
		③流充用額	0	0	260	0	0					
		④繰越額計	0	0	△ 26,441	26,441	0					
	前年度繰越	前年度繰越	0	0	0	26,441	0					
		次年度繰越	0	0	△ 26,441	0	0					
	財源内訳 (①④⑥内訳)	一般財源	0	4,540	17,489	13,221	0					
		国支出金	0	2,533	17,230	13,220	0					
		府支出金	0	0	0	0	0					
		地方債	0	0	0	0	0					
		その他特財	0	0	0	0	0					
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	災害廃棄物処理事業		種類	国庫補助金		実績金額	15,717	決算付属資料	16	頁
		特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁
	人件費	0/0	0.41 / 0	0.87 / 0	0.87 / 0							
⑤概算人件費	0	3,280	6,960	6,960								
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	0	10,353	41,679	33,401								
⑦執行額	0	7,073	34,719	0								
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	—	100.0%	100.0%	0.0%								

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
		生活環境状況		/	保全	保全	/	保全	保全
				/	/	/	/		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
		災害ごみの処理量	t	/	673 / 673	1,514 / 1,804	/	全量処理	全量処理
		単位あたりコスト		/	10.5	22.9	/		
		/	/	/	/				
		単位あたりコスト							

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・災害ごみの処理を迅速に行うことは、生活環境を衛生的に保ち、被災市民が早急に通常生活に戻るために必要性が高い。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・経験をもった民間業者に委託することにより、迅速かつ効率的に処理を行っている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標については災害ごみ全てを迅速に処理することとしている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		臨時集積所に排出されたごみや、直接搬入されたごみについては、迅速かつ適正に処分できた。しかし、被災家屋の撤去・処分については、被災者からの申請期限である10月末日を待ってからの工事発注準備となり、次年度へ繰り越す必要が生じた。	
今後の課題及び方向性		災害ごみの処理については、被災自治会への連絡、臨時集積場の設置、収集業者の確保、便乗ごみ排出防止対策等について、災害発生直後からいかに迅速に行動できるかにかかっている。いざという時に素早く対応できるよう、災害廃棄物処理計画や災害廃棄物処理マニュアルについて関係職員が研究し、熟知しておくことや、各自治会等に対して災害ごみ排出方法を周知しておく必要がある。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針 担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	・平成30年度発生災害に関する災害廃棄物処理事業は令和元年度で終了した。
予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 生活環境課												
	作成責任者	井上 和成												
	事業名	埋立処分場災害復旧事業												
	会計情報	款	災害復旧費	項	厚生労働施設災害復旧費	目	衛生施設災害復旧費	会計	一般会計	事業コード	540147	決算付属資料	262	頁
	施策体系	施策コード	040503	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する									
	開始年度	平成30年度												
	終了予定年度	平成30年度												
	関連計画等	福知山市一般廃棄物処理基本計画												
	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	平成30年7月豪雨及び台風24号により被害を受けた埋立処分場管理道路等の復旧を行ない施設機能の復旧を図る。				
	対象者	全市民	対象者数	77,743	単位あたりコスト	0.1
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
	委託先・実施主体等	富士興業、北山組				
	事業概要	埋立処分場管理道路等の復旧を行ないうの復旧を図る。				
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費		
	需用費	不燃物処理場進入路修繕、管理道路面修繕	417			
	役務費	管理道路・水路土砂撤去	872			
	関連事業					

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額				
配当予算	①当初		0	0	0				
	②補正予算		3,500	0					
	③流充用額		0	0					
	④繰越額計		0	0	0				
前年度繰越			0	0	0				
	次年度繰越		0	0	0				
予算と執行の状況 財源内訳(①④⑤内訳)	一般財源		0	0	0				
	国支出金		0	0	0				
	府支出金		0	0	0				
	地方債		3,500	0	0				
	その他特財		0	0	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	埋立処分場災害復旧事業(現年・単独)	種類	市債	実績金額	1,200	決算付属資料	50	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	/	0.05	/					
⑤概算人件費			400						
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)			3,900						
⑦執行額			1,288						
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)			36.8%						

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		被災箇所復旧率	%			100	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		復旧事業施工箇所	箇所			5	/	
	単位あたりコスト				258.0			
	単位あたりコスト					/		

項 目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・埋立処分場の災害復旧を行うことは、市民サービスを確保するために必要性が高い。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・適切な工法選定による効率化が図れた。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標については埋立処分場機能の復旧することとしている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		被害箇所迅速な復旧による被害拡大の防止が図れた。	
今後の課題及び方向性		災害による施設被害に対する対応力を確保する。	

所 見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
所 見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内 容
来年度方針 担当課の事業の見直し及び予算要求方針 予算への反映 【財政担当課記入】	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	平成30年7月豪雨及び台風24号により、被害を受けた埋立処分場災害復旧事業は平成30年度で終了した。
	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 生活環境課												
	作成責任者	井上 和成												
	事業名	環境パーク運転・維持管理事業												
	会計情報	款	衛生費	項	清掃費	目	じん芥処理費	会計	一般会計	事業コード	540154	決算付属資料	158・160	頁
	施策体系	施策コード	040503	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する									
	開始年度	平成28年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	福知山市一般廃棄物処理基本計画												
	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	市民の生活から日常的に排出される廃棄物の処理を行なううえで、施設を良好な状態で維持しなければ、排出されるごみを適切に処理できない。機器のトラブルにより、ごみを滞留させることは、市民が安心、快適な衛生生活を確保できない。環境パークの施設を安全に保つため維持管理に努め市民生活の安全安心を図る。												
	対象者	全市民	対象者数	77,743	単位あたりコスト	3.0								
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()												
	委託先・実施主体等	福知山クリーンセンター、シルバー人材センター他												
	事業概要	平成12年度より燃やすごみを処理するために、現在のごみ焼却施設の稼働を初め、またリサイクルプラザは平成15年度より稼働を始め、「福知山市環境パーク」として17年が経過した。ごみ処理は、市民生活に密着したライフラインの一部であり、法に則した燃やすごみの完全な処理が、市民の快適な衛生生活を提供することとなる。住民サービスの充実を図るため、機器の運転・維持管理に必要な施設の整備を行う。法令及び公害防止協定を遵守する必要もある。												
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容						H30経費					
		需用費	焼却薬品代、その他消耗品、燃料費、電気料、上下水道料、修繕料						122,585					
		委託料	環境パーク庁舎管理業務 他						74,611					
		使用料賃借料	トラックスケール賃借料、公用車リース料						12,926					
		役務費	公用車車検整備、建物総合損害共済						1,301					
賃金 他		賃金、報償費、備品購入費、負担金補助及び交付金、公課費、旅費						2,259						
関連事業	ごみ焼却施設修繕事業、廃棄物処理施設等運転管理委託事業、水処理運転維持・管理事業、リサイクルプラザ修繕事業													

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額						
	配当予算	①当初	206,345	208,306	210,741	209,551	205,512					
		②補正予算			0	0						
		③流充用額	△ 13,403	△ 6,935	3,098	0						
		④繰越額計	0	0	0	0	0					
	前年度繰越			0	0	0	0					
		次年度繰越		0	0	0	0					
	財源内訳 (①④⑥内訳)	一般財源	13,644	78,922	87,016	80,521	48,255					
		国支出金	0	0	0	0	0					
		府支出金	0	0	0	2,160	2,035					
地方債		0	0	0	0	0						
その他特財		179,298	122,449	126,823	126,870	155,222						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	一般廃棄物手数料	種類	手数料	実績金額	63,926	決算付属資料	14	頁			
	特財名称	産業廃棄物手数料	種類	手数料	実績金額	56,062	決算付属資料	14	頁			
人件費	従事職員数 (正職・嘱託)	1.93/2.5	1.77 / 2.55	2 / 2.9	2 / 2.9							
	⑤概算人件費	21,690	20,535	23,250	23,250							
	⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	214,632	221,906	237,089	232,801							
	⑦執行額	192,520	193,754	213,683								
	執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	99.8%	96.2%	99.9%	0.0%							

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
		公害防止協定、協定値の遵守		協定値以下	協定値以下	協定値以下	/	協定値以下	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
		廃棄物処理量(焼却、リサイクルプラザ)	t	23,044 / 18,937	23,206 / 18,555	22,708 / 17,436	/	16,457	完全処理
		単位あたりコスト		8.4	8.3	9.4			
		単位あたりコスト		/	/	/			

項 目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・市民の生活に不可欠なごみ処理に係る事業であり、焼却処理において、法令の遵守と地元自治会との公害防止協定の遵守することにより市民生活の安全安心を確保する。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・法令の遵守及び安全な処理を確保しつつ、施設の適正な維持管理を行い、計画的な修繕を行うことで施設の延命化をすることにより可能なコスト縮減、効率化を図る。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標については、遵守すべき法令及び公害防止協定をクリアする。 ・活動実績はごみ処理量。 ・有効な技術等を常に研究している。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		施設の安全、適切な維持管理を行うことにより、市内で発生する燃やすごみの安定かつ適正な「廃棄物処理」が行なえた。ごみ処理の過程で発生する有害物質の発生を抑制、除去を行ない法令及び公害防止協定に定められている基準値を下回る測定結果を得た。	
今後の課題及び方向性		廃棄物処理を安定かつ適正に処理を行なうとともに、さらに効率化と経費の削減を図る。	

所 見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内 容
来年度方針 担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	・環境パークの適正な運転管理を行うとともに、より効率的な施設管理を行い経費節減を行う。
予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 生活環境課												
	作成責任者	井上 和成												
	事業名	リサイクルプラザ修繕事業												
	会計情報	款	衛生費	項	清掃費	目	じん芥処理費	会計	一般会計	事業コード	540155	決算付属資料	160	頁
	施策体系	施策コード	040503	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する									
	開始年度	平成15年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	福知山市一般廃棄物処理基本計画												
	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律・容器リサイクル法												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	市民の生活から日常的に排出される廃棄物の処理を行なううえで、経年劣化に伴う性能低下が著しいサイクルプラザの各機械設備部品を計画的に整備することで、資源ごみ処理を適正に行っていく。										
	対象者	全市民	対象者数	77,743	単位あたりコスト	0.7						
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等	三菱重工環境・化学株式会社										
	事業概要	リサイクルプラザ内の各施設は16年が経過した。容器包装プラスチック他の資源ごみの中間処理を行い、循環型社会の市民への啓蒙を行っている。法に則した資源ごみの完全な処理は、市民の快適な衛生生活を提供することとなる。住民サービスの充実を図るため、機器の運転・維持管理費を計上し施設の整備を行う。										
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容						H30経費			
		需用費	不燃ごみ処理施設破砕設備ほか修繕 他						21,827			
委託料		不燃物埋立処分場破砕機運転管理業務						354				
使用料賃借料		サイクルプラザ ペットボトル圧縮梱包機 賃貸借						4,104				
工事請負費		リサイクルプラザ棟空調機更新工事						10,273				
関連事業	ごみ焼却施設修繕事業、廃棄物処理施設等運転管理委託事業、水処理運転維持・管理事業											

区分	H28		H29		H30		R1		R2要求額		
	①当初	63,384		75,471		53,628		41,959		54,441	
②補正予算					0		0				
③流充用額	32,387		△ 1,418		△ 2,829		0				
④繰越額計	0		0		0		0		0		
前年度繰越			0		0		0		0		
次年度繰越			0		0		0		0		
一般財源	23,619		5,865		9,744		3,959		16,641		
国支出金	0		0		0		0		0		
府支出金	5,352		5,482		4,655		0		0		
地方債	66,800		51,100		36,400		38,000		37,800		
その他特財	0		11,606		0		0		0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	リサイクルプラザ修繕事業(みらい戦略一括交付金)		種類	府補助金		実績金額	4,655	決算付属資料	24	頁
	特財名称	リサイクルプラザ修繕事業(一般廃棄物処理)		種類	市債		実績金額	23,300	決算付属資料	46	頁
人員費	0.52/0		0.52 / 0		0.45 / 0		0.45 / 0				
⑤概算人員費	4,160		4,160		3,600		3,600				
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	99,931		78,213		54,399		45,559				
⑦執行額	75,886		72,310		36,558						
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	79.2%		97.6%		72.0%		0.0%				

業績指標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
			成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	搬入廃棄物の分別処理		完全処理	
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
	リサイクルプラザ処理量	t	4,109/ 3,370	4,275/ 3,257	4,154/ 3,155	/	3,286
	単位あたりコスト		18.5	16.9	8.8		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

項 目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・市民の生活に不可欠なごみ処理に係る事業であり、焼却処理において、法令の遵守と地元自治会との公害防止協定の遵守することにより市民生活の安全安心を確保する。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・法令の遵守及び安全な処理を確保しつつ、施設の適正な維持管理を行い、計画的な修繕を行うことで施設の延命化をすることにより可能なコスト縮減、効率化を図る。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標については、遵守すべき法令及び公害防止協定をクリアする。 ・活動実績はごみ処理量。 ・有効な技術等を常に研究している。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		施設の計画的な修繕を行うことにより、市内で発生するリサイクルごみの安定かつ適正な分別処理が行なえた。	
今後の課題及び方向性		廃棄物を安定かつ適正に処理を行なうとともに、さらに効率化と経費の削減を図る。	

所 見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
所 見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内 容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 生活環境課												
	作成責任者	井上 和成												
	事業名	指定ごみ袋作製事業												
	会計情報	款	衛生費	項	清掃費	目	じん芥処理費	会計	一般会計	事業コード	540165	決算付属資料	160	頁
	施策体系	施策コード	040503		施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する								
	開始年度	平成13年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	福知山市一般廃棄物処理基本計画												
	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	有料指定ごみ袋の導入(一般廃棄物の有料化)により、費用負担を軽減しようとするインセンティブが生まれ、ごみの排出量の抑制やリサイクルの促進が期待できる。ごみの減量により、焼却施設や埋立処分場の負担を減少させると共に、延命化を図ることが可能となり、財政負担の軽減につながる。										
	対象者	全市民			対象者数	77,743		単位あたりコスト	0.6			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等	作製: ㈱ユイテック、販売: 福大商事ほか8者										
	事業概要	家庭ごみの排出抑制と資源化の推進、排出量に応じた負担の公平化及び住民の意識改革のため、有料指定ごみ袋による分別収集を実施し、また、指定ごみ袋を身近な店舗等で購入できるよう、卸売・小売業者に販売を委託し、交付実績に応じて手数料を支払う。										
主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容					H30経費					
	需用費	家庭ごみ袋作製 他					23,871					
	役務費	指定ごみ袋処理手数料					22,753					
	関連事業											

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額				
配当予算	①当初	62,046	56,200	46,631	47,095	42,274			
	②補正予算			0	0				
	③流充用額	△ 13,358	△ 1,174	298	0				
	④繰越額計	0	0	0	0	0			
予算と執行の状況	前年度繰越		0	0	0	0			
	次年度繰越		0	0	0	0			
	一般財源	0	0	298	0	0			
	国支出金	0	0	0	0	0			
	府支出金	0	0	0	0	0			
地方債	0	0	0	0	0				
その他特財	48,688	55,026	46,631	47,095	42,274				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	指定ごみ袋処理手数料	種類	手数料	実績金額	46,624	決算付属資料	14	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
人件費	0.24/0.28	0.24 / 0.24	0.22 / 0.22	0.22 / 0.22					
⑤概算人件費	2,620	2,520	2,310	2,310					
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	51,308	57,546	49,239	49,405					
⑦執行額	47,341	47,236	46,624	0					
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	97.2%	85.8%	99.4%	0.0%					

業績指標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
			実績	目標	実績	目標	
成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	年間1人当たりごみ排出量	kg	152 / 155	147 / 151	154 / 146	/ 141	138
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	ごみ収集量(可燃・不燃・プラ)	t	12,292 / 11,795	11,997 / 11,435	11,820 / 11,108	/ 10,783	10,487
	単位あたりコスト		3.9	3.9	3.9		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・一般廃棄物の処理は市町村の責務であり、生活環境の保全のために収集業務の必要性は高い。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・技能と経験をもった民間業者に委託することにより、効率的な運営を図っている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標については「未来創造福知山」基本計画及び一般廃棄物処理基本計画で設定している目標である。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		一般廃棄物処理基本計画で示している一般廃棄物の減量化目標を達成したことは評価できる。	
今後の課題及び方向性		分別不良により回収せず残してくるごみが多数あることや、スプレー缶等によるパッカー車の火災事故を防止するため、継続して分別啓発を推進していく。 また、ごみ排出量と収集運搬経費との関係について、効率的かつ適正な内容となるよう調査検討する。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針 担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	・令和2年度作製分の指定袋包装袋に有料広告を掲載予定である。
予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 生活環境課												
	作成責任者	井上 和成												
	事業名	ごみ収集運搬事業												
	会計情報	款	衛生費	項	清掃費	目	じん芥処理費	会計	一般会計	事業コード	540171	決算付属資料	160	頁
	施策体系	施策コード	040503		施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する								
	開始年度	昭和57年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	福知山市一般廃棄物処理基本計画												
	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	市民1人当りのごみ排出量の削減を目指すため、3Rの推進で減量化を進めるとともに、市民から排出される廃棄物(可燃、不燃、容器包装プラスチック、資源ごみ、粗大ごみ等)の分別収集を確実にし、衛生的で快適な生活環境を確保する。										
	対象者	全市民	対象者数	77,743	単位あたりコスト	5.9						
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等	(株)福知山クリーンセンターほか6者										
	事業概要	安定的で円滑な収集運搬を確実にを行うため、適切な市民対応ができる信用・技術・経験を有する業者へ委託する。 ゴミステーションの収集:可燃・不燃・容器プラ 4者、資源ごみ収集 3者 粗大ごみ等収集:2者										
主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費			
	業務委託料	廃棄物収集運搬業務委託							458,068			
関連事業												

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額						
	配当予算	①当初	445,856	467,266	458,759	462,312	479,755					
		②補正予算	0	△ 4,220	0	0						
		③流充用額	0		△ 662	0						
		④繰越額計	0	0	0	0	0					
	前年度繰越											
		次年度繰越										
	財源内訳 (①④⑥内訳)	一般財源	265,798	289,254	288,981	306,736	305,216					
		国支出金	0	0	0	0	0					
		府支出金	0	0	0	0	0					
		地方債	0	0	0	0	0					
		その他特財	180,058	173,792	169,116	155,576	174,539					
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	一般廃棄物手数料	種類	手数料	実績金額	83,189	決算付属資料	14	頁		
		特財名称	産業廃棄物手数料	種類	手数料	実績金額	78,386	決算付属資料	14	頁		
	人件費	従事職員数 (正職・嘱託)	0.26/0.1	0.39 / 0	0.31 / 0.05	0.31 / 0.05						
⑤概算人件費		2,330	3,120	2,605	2,605							
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)		448,186	466,166	460,702	464,917							
⑦執行額		445,854	462,371	458,068	0							
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)		100.0%	99.9%	100.0%	0.0%							

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		年間1人当たりごみ排出量	kg	152 / 155	147 / 151	154 / 146	/ 141	138
	分別不良によるごみ残し数	袋	/	/	15,533 / 7,800	/ 7,000	6,200	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		ごみ収集量	t	13,638 / 1,3049	13,502 / 12,651	13,312 / 12,289	/ 11,929	11,603
		単位あたりコスト		32.7	34.2	34.4		
単位あたりコスト			/	/	/	/		

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・一般廃棄物の処理は市町村の責務であり、生活環境の保全のために収集業務の必要性は高い。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・技能と経験をもった民間業者に委託することにより、効率的な運営を図っている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標については「未来創造福知山」基本計画及び一般廃棄物処理基本計画で設定している目標である。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		一般廃棄物処理基本計画で示している一般廃棄物の減量化目標を達成したことは評価できる。	
今後の課題及び方向性		分別不良により回収せず残してくるごみが多数あることや、スプレー缶等によるパッカー車の火災事故を防止するため、継続して分別啓発を推進していく。 また、ごみ排出量と収集運搬経費との関係について、効率的かつ適正な内容となるよう調査検討する。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 生活環境課												
	作成責任者	井上 和成												
	事業名	廃棄物処理施設等運営管理委託事業												
	会計情報	款	衛生費	項	清掃費	目	じん芥処理費	会計	一般会計	事業コード	540172	決算付属資料	160	頁
	施策体系	施策コード	040503	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する									
	開始年度	平成28年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	福知山市一般廃棄物処理基本計画												
	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、容器リサイクル法、ダイオキシン特別措置法												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	環境パーク内のごみ焼却施設及びリサイクルプラザ・埋立処分場水処理施設(環境パーク・梅原・大油子・三河)の適正な運営管理を実施することにより、搬入された可燃・不燃ごみ及び資源ごみ等の焼却処理、資源化及び減量化を行なうとともに、市民の衛生的かつ効率的な処理を行い、回収資源の還元による省資源化と廃棄物の減量及び埋立処分場の延命化を図る。									
	対象者	全市民	対象者数	77,743	単位あたりコスト	1.7					
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
	委託先・実施主体等	株式会社タカダ									
	事業概要	焼却施設、リサイクルプラザ、水処理施設(環境パーク及び旧三町)の運営管理を委託し、業者のもっている専門的な知識を生かして、安定した維持管理を今後も行う。 また、3か年の長期継続契約とすることで、経費節減効果もある。									

主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費
	委託料	廃棄物処理施設運転・維持管理業務			127,440

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額				
	配当予算	①当初	110,383	127,440	127,593	148,665	142,560			
		②補正予算			0	0				
		③流充用額	34,328	152	0	0				
		④繰越額計	0	0	0	0	0			
	前年度繰越			0	0	0	0			
		次年度繰越		0	0	0	0			
	財源内訳 (①④⑥内訳)	一般財源	144,711	78,891	40,358	39,974	36,638			
		国支出金	0	0	0	0	0			
		府支出金	0	0	0	0	0			
		地方債	0	0	0	0	0			
		その他特財	0	48,701	87,235	108,691	105,922			
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	産業廃棄物手数料	種類	手数料	実績金額	63,796	決算付属資料	14	頁
		特財名称	一般廃棄物手数料	種類	手数料	実績金額	607	決算付属資料	14	頁
	人件費	従事職員数 (正職・嘱託)	0.20/0	0.19 / 0	0.09 / 0	0.09 / 0				
⑤概算人件費		1,600	1,520	720	720					
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)		127,440	129,112	128,313	149,385					
⑦執行額		144,711	127,592	127,440						
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)		100.0%	100.0%	99.9%	0.0%					

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		公害防止協定、協定値の遵守		協定値以下	協定値以下	協定値以下		協定値以下
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		廃棄物処理量	t	23,044 / 18,937	23,206 / 18,555	22,708 / 17,436	/	16,457
単位あたりコスト			6.3	5.5	5.6			
	単位あたりコスト		/	/	/	/		

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・市民の生活に不可欠なごみ処理に係る事業であり、焼却処理において、法令の遵守と地元自治会との公害防止協定の遵守することにより市民生活の安全安心を確保する。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・法令の遵守及び安全な処理を確保しつつ、施設の適正な維持管理を行い、計画的な修繕を行うことで施設の延命化をすることにより可能なコスト縮減、効率化を図る。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標については、遵守すべき法令及び公害防止協定をクリアする。 ・活動実績はごみ処理量。 ・有効な技術等を常に研究している。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		施設の安全、適切な維持管理を行うことにより、市内で発生する燃やすごみの安定かつ適正な「廃棄物処理」が行なえた。ごみ処理の過程で発生する有害物質の発生を抑制、除去を行ない法令及び公害防止協定に定められている基準値を下回る測定結果を得た。	
今後の課題及び方向性		廃棄物処理を安定かつ適正に処理を行なうとともに、さらに効率化と経費の削減を図る。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 生活環境課												
	作成責任者	井上 和成												
	事業名	リサイクルプラザ不燃物分別事業												
	会計情報	款	衛生費	項	清掃費	目	じん芥処理費	会計	一般会計	事業コード	540180	決算付属資料	160	頁
	施策体系	施策コード	040503	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する									
	開始年度	平成21年度												
	終了予定年度	平成30年度												
	関連計画等	福知山市一般廃棄物処理基本計画												
	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	ごみ処理過程での火災や爆発事故を防止する。また併せて、使用済小型家電を分別回収することでリサイクルの促進を図る。									
	対象者	全市民	対象者数	77,743	単位あたりコスト	0.2					
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
	委託先・実施主体等	福知山環境事業協同組合									
	事業概要	リサイクルプラザに搬入された不燃ごみを破砕処理する前に、スプレー缶やガスライター等の危険物や小型家電を手選別により除去・分別する業務を委託する。									
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費	
	需用費	フレコンバック60枚							45		
	業務委託料	リサイクルプラザ不燃物分別業務							16,659		
	関連事業										

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額					
	配当予算	①当初	14,969	16,560	16,533	0	0				
		②補正予算			0	0	0				
		③流充用額	2,060	0	178	0	0				
		④繰越額計	0	0	0	0	0				
		前年度繰越		0	0	0	0				
		次年度繰越		0	0	0	0				
	財源内訳 (①④⑤内訳)	一般財源	10,875	12,490	14,333	0	0				
		国支出名	0	0	0	0	0				
		府支出名	0	0	0	0	0				
		地方債	0	0	0	0	0				
		その他特財	6,154	4,070	2,378	0	0				
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	金属くず		種類	財産売却収入	実績金額	4,037	決算付属資料	32	頁
		特財名称	小型家電売却費		種類	財産売却収入	実績金額	68	決算付属資料	32	頁
	人件費	従事職員数 (正職・嘱託)	0.05/0	0.06 / 0	0.07 / 0	/					
⑤概算人件費		400	480	560							
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)		17,429	17,040	17,271	0						
⑦執行額		15,643	16,449	16,704							
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)		91.9%	99.3%	100.0%							

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		火災・事故の発生件数	件	2 / 0	0 / 0	0 / 0	/	0
				/	/	/	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		手選別日数	日	271 / 271	271 / 271	271 / 271	/	271
		単位あたりコスト		57.7	60.7	61.6		
			/	/	/	/		
	単位あたりコスト							

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	<ul style="list-style-type: none"> ・パーク内の安全確保のためには、必要性は高い。 ・小型家電の再資源化促進については法施行されており、必要性は高い。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	<ul style="list-style-type: none"> ・技能と経験をもった民間業者に委託することにより、効率的な運営を図っている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	<ul style="list-style-type: none"> ・安全の確保が主たる目的であり、成果目標としている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>不燃ごみに混入したスプレー缶やライター等による小規模な引火が回避できていない状況である。しかし、大規模な火災や人身事故が発生していないことは評価できる。</p>		
今後の課題及び方向性	<p>爆発事故が毎年発生している。処理時間内に効率的に選別作業を行い、安全を確保するには、家庭での正しい分別排出により危険ごみが適正に出されることが最も重要であり、市民への分別啓発の推進や収集業務の中での排除等、広い範囲で対策方法を調査検討する。令和元年度からリサイクル関連事業に統合する。</p>		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針 担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度よりリサイクル関連事業に統合済み。
予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 生活環境課												
	作成責任者	井上 和成												
	事業名	リサイクル関連事業												
	会計情報	款	衛生費	項	清掃費	目	じん芥処理費	会計	一般会計	事業コード	540194	決算付属資料	160	頁
	施策体系	施策コード	040503	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する									
	開始年度	平成15年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	福知山市一般廃棄物処理基本計画												
	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	再生資源物のリサイクル化を促進し、ごみの減量化を図る。										
	対象者	全市民	対象者数	77,743	単位あたりコスト	0.9						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等	(社)福知山シルパー人材センター、(福)ふくちやま福祉会、(福)みつみ福祉会、アクアテック、日本容器包装リサイクル協会ほか										
	事業概要	リサイクルプラザに搬入された資源ごみをリサイクル事業者の引き取り条件に適合させるための中間処理を行う業務を委託する。また、それに関する施設や作業用機械等の維持管理を行う。										
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費		
		需用費	消耗品費、燃料費、備品等修繕料							2,111		
役務費		損害保険料、作業用車両検査料							378			
委託料		中間処理業務、ビン分別業務、容器プラ分別業務、蛍光管・乾電池運搬・処分業務							63,683			
使用料及び賃借料		危険ごみ破碎処理装置、ビン用ホイールローダ							3,270			
	備品購入費	ホイールローダ用ノーバンクタイヤ							694			
関連事業												

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額					
	配当予算	①当初	78,643	79,903	70,389	85,568	87,887				
		②補正予算			0	0					
		③流充用額	△ 136	547	0	0					
		④繰越額計	0	0	0	0	0				
	前年度繰越			0	0	0	0				
		次年度繰越		0	0	0	0				
	財源内訳 (①④⑤内訳)	一般財源	50,152	53,646	44,699	58,388	61,250				
		国支出金	0	0	0	0	0				
		府支出金	0	0	0	0	0				
		地方債	0	0	0	0	0				
		その他特財	28,355	26,804	25,690	27,180	26,637				
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	空き缶		種類	財産売払収入	実績金額	13,270	決算付属資料	32	頁
		特財名称	有償入札拠出金		種類	雑入	実績金額	8,754	決算付属資料	44	頁
	人件費	0.21/0	0.23 / 0	0.32 / 0	0.32 / 0						
⑤概算人件費	1,680	1,840	2,560	2,560							
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	80,187	82,290	72,949	88,128							
⑦執行額	72,119	76,731	70,135								
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	91.9%	95.4%	99.6%	0.0%							

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		リサイクル率	%	18.3 / 19.5	17.5 / 20.0	17.3 / 22.6	/ 25.3	25
				/	/	/	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		リサイクル量(中間処理分)	t	2,514 / 2,446	2,653 / 2,394	2,541 / 2,346	/ 2,298	2,254
		単位あたりコスト		28.7	28.9	27.6		
		/	/	/	/			
	単位あたりコスト							

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・資源ごみのリサイクル化を促進することは、市民のごみ分別意識を高め、埋立処分場の延命化につながるため、必要性が高い。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・経験をもった民間業者に委託することにより、効率的な運営を図っている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標については「未来創造福知山」基本計画及び一般廃棄物処理基本計画で設定している目標である。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	一般廃棄物処理基本計画で示しているリサイクル率の目標を達成するために、ごみの減量化及び分別排出の精度を高める啓発に努め、基本計画のリサイクル化施策の実行を促進させる必要がある。		
今後の課題及び方向性	ごみの排出量が減量傾向にある中で資源ごみのリサイクル率を向上させていくために、ごみ分別排出の精度向上の啓発や、バイオマス燃料化等の新たな取り組みが必要。 また、リサイクル量と経費との関係について、効率的かつ適正な内容となるよう調査検討する。 令和元年度よりリサイクルプラザ不燃物分別事業を統合する。		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針 担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	・リサイクル量とコストとの関係について調査分析し、各業務委託契約が適正な内容となっているか整理する。 ・令和2年度分からの契約に関して、労務単価や業務内容等を適正に見直し契約を行う。 【H29年度棚卸しに係る見直し】 ・ごみ分別パンフレットについては、平成31年4月発行分において、内容の見直しを行った。 ・令和元年度に契約満了となるものについては、令和2年度分からの契約で労務単価や業務内容等を適正に見直し契約を行う。
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】